

令和4年度予算の進み具合

※9月30日現在。金額は令和3年度からの繰越事業費を含むもので、1万円未満は四捨五入しています

■一般会計

歳入名	予算額	収入額	執行率
市 税	37億7,367万円	23億5,294万円	62.4%
地方交付税	67億6,064万円	46億1,356万円	68.2%
国庫支出金	48億5,612万円	5億7,729万円	11.9%
県支出金	16億6,073万円	7,460万円	4.5%
市 債	30億8,982万円	0万円	0.0%
その他	46億8,944万円	25億7,075万円	54.8%
合 計	248億3,042万円	101億8,914万円	41.0%

歳出名	予算額	支出額	執行率
総務費	47億5,126万円	14億5,772万円	30.7%
民生費	68億127万円	25億4,690万円	37.4%
衛生費	16億6,846万円	6億1,782万円	37.0%
農林水産業費	11億2,437万円	2億3,799万円	21.2%
商工費	13億1,041万円	6億3,776万円	48.7%
土木費	19億9,244万円	5億3,481万円	26.8%
消防費	10億9,790万円	3億3,037万円	30.1%
教育費	22億1,796万円	7億7,292万円	34.8%
災害復旧費	9億1,920万円	2,499万円	2.7%
公債費	26億8,922万円	13億5,007万円	50.2%
その他	2億5,793万円	1億1,957万円	46.4%
合 計	248億3,042万円	86億3,092万円	34.8%

■特別会計

会計名	予算額	支出額	執行率
国保(事業勘定)	38億1,512万円	14億6,573万円	38.4%
国保(直診勘定)	1億9,068万円	6,097万円	32.0%
後期高齢者医療	3億8,849万円	8,830万円	22.7%
魚市場事業	1,580万円	928万円	58.7%
合 計	44億1,009万円	16億2,428万円	36.8%

■公営企業会計

事業	区分	予算額	支出額	執行率
水道事業	収益的支出	10億7,207万円	1億5,070万円	14.1%
	資本的支出	7億1,500万円	2億5,139万円	35.2%
下水道事業	収益的支出	11億4,637万円	1億6,173万円	14.1%
	資本的支出	10億6,485万円	2億3,910万円	22.5%
合 計		39億9,829万円	8億292万円	20.1%

用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します

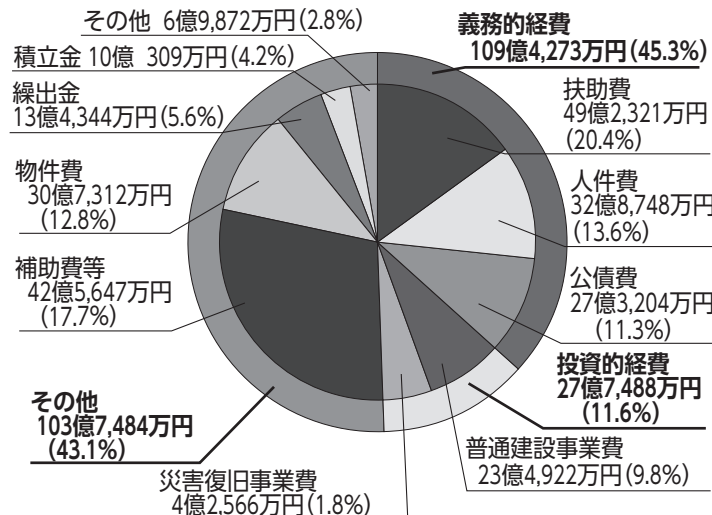
【収入の関係】

▶地方交付税…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するために国から配分されるお金です。所得税や法人税などがもとになっています

【支出の関係】

- ▶民生費…福祉や子育てを支援するために使うお金
- ▶総務費…企画調整事務、庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金徴収など市の運営全般に使うお金
- ▶衛生費…環境の保全や健康を増進するために使うお金
- ▶公債費…市の借金返済などに使うお金
- ▶教育費…学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
- ▶土木費…道路や公園などの整備や補修に使うお金
- ▶商工費…商工業や観光を促進するために使うお金
- ▶農林水産業費…農林水産業の振興などに使うお金
- ▶消防費…消防や災害対策などに使うお金
- ▶災害復旧費…災害によって被害を受けた施設や道路などを復旧するためのお金
- ▶扶助費…子どもや高齢者などの支援に使うお金
- ▶義務的経費…支出が義務付けられていて、市の判断で削減することが難しいお金
- ▶投資的経費…道路や漁港、建物などを整備するために使ったお金

■性質別歳出



■特別会計

会計名	収入額	支出額
国保(事業勘定)	41億2,518万円	39億6,978万円
国保(直診勘定)	1億4,436万円	1億4,436万円
後期高齢者医療	3億5,007万円	3億4,980万円
魚市場事業	1,612万円	1,612万円
合 計	46億3,573万円	44億8,006万円

■公営企業会計

事業名	区分	収入額	支出額
水道事業	収益的収支	9億5,978万円	9億6,547万円
	資本的収支	4億9,174万円	8億239万円
下水道事業	収益的収支	10億8,107万円	10億2,546万円
	資本的収支	13億721万円	14億4,284万円

公営企業会計に該当する水道・下水道事業会計は、皆さんから納めていただく料金を主な収入としています。施設を維持管理するための収益的収支は、水道事業が569万円の赤字。下水道事業が、5561万円の黒字となっています。

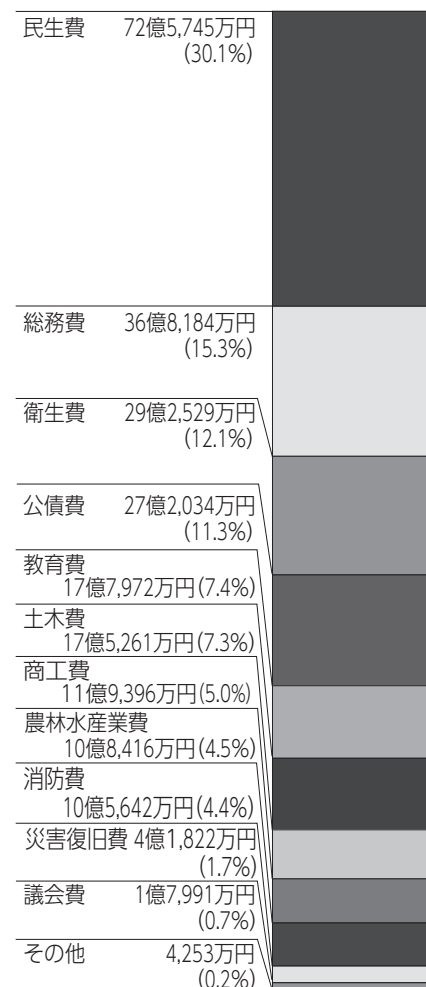
「公営企業会計」があります。市の特別会計には、国民健康保険や後期高齢者医療などがあり、収入の合計は46億3573万円、支出の合計は44億8006万円となりました。

■財政の健全化が必要です！

- 実質公債費比率 **12.5%** (県内の市平均11.2%・市令和2年度13.6%)
毎年入ってくる収入のうち、何%が借金返済に使われたかを示すもので、過去3年間の平均値です。25%を超えると、借入れが制限されます。
- 経常収支比率 **91.2%** (県内の市平均91.3%・市令和2年度88.6%)
市が毎年固定的に支払う人件費などの経費を、毎年入ってくる収入で割った数値です。80%を超えると財政は苦しいといわれています。
- 将来負担比率 **104.3%** (県内の市平均56.0%・市令和2年度120.8%)
毎年入ってくる収入に対する、将来に負担が見込まれる借金の割合です。将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標となります。

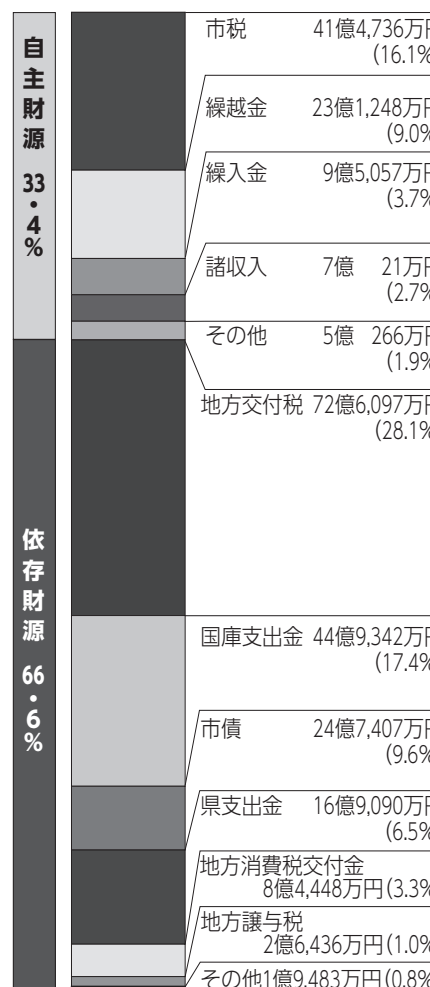
■一般会計歳出

240億9,245万円



■一般会計歳入

258億3,631万円



決算

令和3年度

市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国からのお金などで成り立っています。令和3年度も限られた貴重なお金を、皆さんの暮らしのために有効に活用しました。今回は市議会9月定例会で認定された令和3年度の決算の概要をお知らせします。

※金額は1万円未満を四捨五入しています

自主財源は33・4%

「一般会計」は福祉や教育、土木など市の基本的な仕事のための会計です。令和3年度の一般会計決算は、歳入(収入)が258億3631万円、歳出(支出)が240億9245万円となりました。

歳入で最も多いのは、国から配分された地方交付税の72億6097万円。財源別に見ても、地方交付税や国庫・県支出金などの依存財源が約66・6%を占め、財源の大半を国や県に頼っている状況です。

これに対して、市税などの自主財源は約33・4%。自主財源が多いほど市政の自主性と安定性が保てます。

コロナ対策が影響

歳出では、新型コロナウイルス感染症対策に伴い民生費や衛生費が増加となりましたが、特別定額給付金事業の皆減、災害復旧事業の進捗などにより総務費などが大幅に減少し前年比33億2417万円の減額となりました。引き続き、主要な事業に重点的に財源を充てながら、事業見直しと経費節約を図っていきます。

特別・公営企業会計の状況

市の会計には一般会計のほか、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」と、事業で得

